

いしかわ農業法人だより

Ishikawa Agriculture Corporation Magazine

発行 石川県農業法人協会 いしかわ農業総合支援機構内 発行人 佛田利弘
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20 TEL076-225-7621 Fax076-225-7622

(有)ばんば代表取締役番場睦夫氏(当協会顧問)が黄綬褒章を受章、(有)川原農産会長 川原義正氏が緑白綬有功章を受章

社会の様々な分野でご尽力された方々の功績を称える秋の叙勲が、11月3日付けで発令され、当協会顧問の番場睦夫氏（(有)ばんば 代表取締役）が黄綬褒章の荣誉に輝きました。番場顧問は日本農業青年会議所会長や石川県農業法人協会会長を歴任し、現在ではひやくまん穀生産者部会の部会長に就かれ、長年にわたり石川県の農業をけん引して来られました。

また、当協会会員(有)川原農産の会長川原義正氏が（公社）大日本農会が実施する農事功績表彰事業において、緑白綬有功章を受章されました。

農業政策に関する意見交換会を開催

11月27日(金)、理事会の開催に先立ち、元農林水産省事務次官の末松広行様（現：農林水産省顧問）と北陸農政局長の岩濱洋海様をお迎えして、農業政策に関する意見交換会をホテル日航金沢にて開催しました。

まずは、意見交換に先立ち、末松様より「これからの農山漁村と政策の方向」と題し情報提供等がございました。続いて、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて減少した米の需要に対する今後の国の対応方針について岩濱様より情報提供がありました。

ご講演をいただいた後の意見交換会では、当協会会員からコメの需給調整に対する意見として自然栽培米等の収量の確保が困難な栽培方法の推進の提案や、コロナ渦において欧米諸国のように「食料需給＝農業に対する価値を国民に対し、より理解度を上げる必要がある」という意見、これからの持続可能な食糧供給として国が策定を進める「みどりの食料システム戦略」に関する情報提供、中山間地域等の過疎地域においては新規就農者支援策が不十分であるとの意見が挙げられ、それぞれの意見に対し、両者からご丁寧な回答をいただきました。

当協会ではこのような貴重な意見交換会を今後も開催していきます。協会会員の皆様におかれましては、今後の自社の経営発展の為、あるいは地域農業の先進的リーダーとして積極的に参加していただければ幸いです。



会員の意見の丁寧に応える末松様



今後のコメ政策を説明する岩濱様



意見を述べる林副会長

JAグループ石川担い手応援フェア2020開催

11月28日(土)、石川県産業展示館4号館においてJAグループ担い手応援フェア2020(当協会後援)が開催されました。午前午後の入れ替え制や事前申し込みによるWEBでの参加を可能にする等、コロナ対策を講じながら、多様なステージワークショップや農業生産の拡大等を目的とした展示ブースが設置されていました。約1,000名以上の担い手が訪れ会場は大きく賑わっていました。

主催者であるJA全農石川の松井TAC営農推進課長からは「コロナ渦の状況下において感染防止対策等万全の体制で開催できたことに大変感謝している。これからもTAC活動を通じて農業者の皆様に対し、所得増大に向け継続的にご提案させていただきたい。本県農業の持続的な発展の為には多様な担い手との連携が重要。担い手に皆様の多様なニーズに応じていく為にも我々JAグループが必要不可欠な存在であり、良きパートナーとなるよう鋭意努力していく。地域の農地や人材、雇用や景観、文化等の貴重な農業資源を次世代に継承していく為、また、石川県の農業の発展に向けこれまで以上に担い手の皆様とJAグループが手を携えて取り組んでいきたいと考えています。」とコメントいただきました。



第3回四役会・理事会を開催

10月27日(水)に第3回四役会、11月27日(金)に第3回理事会を開催しました。四役会では昨今のコロナ情勢を鑑みてリモートにて行い、来年6月の役員改選に向けた実施方法及び今後のスケジュールの確認の他、勉強会等の協会活動や委員会活動並びに今後の米政策に対する意見交換について議論しました。

理事会では、役員改選に向けたスケジュールの確認をし、現行理事が中心となり、地域内での話し合いを進めていくこととなりました。引き続き、新規会員の入会について審議され、正会員として珠洲市の農事組合法人きずな、アグリサポート会員として白山市の株式会社サタケ北陸営業所、北菱電興株式会社の入会が満場一致で承認されました。これにより、正会員67社、アグリサポート会員12社となりました。

各委員会として技術経営委員会の濱田委員長から来年2月にJA全農いしかわ様と連携し、GAP及び農場HACCP、農場の運営上に必要な資格について勉強会を計画中であるとの報告がありました。また、組織活性化委員会の活動として、来年1月末までに各地域において意見交換会等を開催していくこととなり、皆さまのご参加をお願いしたいとのことでした。

新入会員のご紹介

正 会 員

農事組合法人きずな 代表理事 桶田 哲三 (水稻43.5ha、大豆3.9ha、小豆2.9ha)

アグリサポート会員

株式会社サタケ北陸営業所 所長 富士本 裕二 (食品産業総合機械、プラント設備等の製造販売)

北菱電興株式会社 技術開発事業部 事業部長 鈴木 渉 (電子機器類、OA機器の開発製造販売)

この度は、ご入会いただき誠にありがとうございます。今後とも何卒宜しくお願い致します。



役員改選について

来年6月開催予定の第26回通常総会において「理事の任期満了に伴う改選」が行われます。正会員の皆様には、理事及び監事の改選について公示をさせていただいておりますが、今後、現行の地域選出理事を中心に地域での話し合いの場が開催されることとなりますので、是非ご参加いただき、活発な意見交換を行っていただきたく存じます。

当協会の活動を活性化していく為には、地域での話し合いが極めて重要です。積極的なご参加宜しくお願い致します。なお、開催が決定した場合は事務局にご一報を宜しくお願い致します。

なお、石川地区（白山市、野々市市）においては、令和3年1月21日の15時から石川農林総合事務所にて開催されることが決定しております。

【役員改選のスケジュール】

11月30日 役員改選の公示（理事候補者及び監事候補者の募集開始）

↓

12月～1月 地域での話し合い

↓

1月29日 理事候補者及び監事候補者の募集締め切り

↓

2月中 理事候補者懇談会（会長、副会長、専務、常務の候補者を選出）

↓

6月上旬 第26回通常総会にて新役員の選任

会長コラム

会員の皆さん、師走に入り、今年はどんな年でしたでしょうか。

春からのコロナ問題が、様々な分野に大きな影響を及ぼしています。特にコメは消費減退が著しく3～40万トﾝが過剰となりそうです。北陸農政局長とも意見交換を重ね、政府の政策が使いやすいように取り組んで来たところですよ。12月9日に開かれる石川県農業活性化協議会について、前向きな意見を提案しようと考えています。いずれにしても、業界、地域一体となって取り組んで行く必要があります。引き続き、いろいろなアイデアやご意見を頂きたくよろしくお願い致します。

最後に、おめでたい話題として、この秋、黄綬褒章に(有)ばんば代表取締役で、当協会顧問の番場睦夫様、緑白綬有功章に(有)川原農産会長の川原義正様が受章されましたこと心よりお慶び申し上げます。

会長理事 佛田利弘

お詫び

昨年度から発刊し始めました法人協会だよりでしたが、10月号、11月号を休刊してしまったことについてこの場をお借りして深くお詫び申し上げます。まだまだ至らぬ点が多々ございますが、今後とも当協会へのご支援ご協力の程何卒宜しくお願い致します。（広報担当理事より）

本だより配布対象 会員・賛助会員・アグリサポート会員・各関係機関
会員の皆様へ

「いしかわ農業法人だより」のメール配信を希望する方は、協会事務局の（南出、島田）までご連絡お願い致します。

e-mail : shimady@inz.or.jp